

# 子供宝也

No.15

平成 24 年 9 月 12 日

尼崎市立武庫東小学校 校長 大楠正治

## 狭いながらも楽しい体育

2年4組が北仮設門を入ったところにあるミニグラウンドで体育をしていました。シーソーは体験したことがないのでしょうか、どうやって遊ぶのか知らない子どももたくさんいるようでした。シーソーの安全な遊び方を丁寧に先生が説明していましたが、しっかり話が聞けていました。

鉄棒を使って回ったり、ぶらさがったり。なかには逆上がりができる子どももいます。鉄棒は、「逆さ感覚」といって自分の体をコントロールするうえで大切な力を養います。

飛び木は2チームに分かれて両端からよ〜いドン！！出会ったらじゃんけん。負けたら大急ぎで元へ戻って、次の子どもがスタートという陣取り合戦です。大喜びでした。これも平衡感覚を養うには効果的な運動です。ゲーム化してやることで楽しくその力をつけることができます。

他にも、ブリッジやアンテナなどの体操、長縄跳びなども取り入れ、狭い場所でも笑顔がいっぱいのいい体育でした。

## ドキドキの席替え

5年2組は席替えでした。私も小学生の頃を思い出しました。その頃私は好きな女の子がいたのですが、フリー抽選の席替えなのに担任の先生があの手この手を使ってその子のとなりにしてくれたのです。恥ずかしかったけれど、うれしかったことを覚えています。

5年2組も言わば抽選のような形式をとっていましたが、黒板が見えにくい子どもや何度も同じような席になってしまう子どもなどは先生が気を配っていました。好きな子同士といった気配りはなかったように思いますが・・・。

こういう席決めは、隣に誰が来るかドキドキです。普段はあんまり話さない友だちが隣かもしれません。大好きな友だちと離れてしまうかもしれません。あまりうれしくない結果になってしまうかもしれません。

でも、席替えの前に友だちの「いいところ調べ」をしていました。どんな友だちが隣にきても、その友だちの良さを見つけ、認めていこうとするこの取り組みは、個性がそれぞれ異なる何十人かの子どもたちと共に学校生活を送っていくうえで大切な取り組みです。

2学期、いろいろトラブルがあるかもしれませんが、それを乗り越えていける子どもたちに育っていてくれるだろうと思いました。

## 迷惑駐輪はやめましょう！

先日、地域の方とお話しをしましたが、武庫之荘駅周辺の迷惑駐輪に嘆いておられました。思い浮かべてみると、確かにひどいですね。歩道にはみだしているというより、歩道においてあるもの。点字ブロックの上も平気です。わたしたち一人一人が気をつけて、私たち自身が誇れる武庫之荘の街をつくり、子どもたちが我が町を誇りに思えるように努力したいものですね。